

東京言語研究所 公開講座

国語を学ぶ・国語を教える

＜講師＞ 野矢 茂樹氏

(立正大学教授／哲学)

＜日時＞2019年6月29日(土) 14:00～17:00

＜会場＞東京言語研究所

(新宿区大久保 1-3-21 新宿TXビル2階 ラボ教育センター内)

※昨年12月に新しい教室に移転しましたのでご注意ください

＜参加費＞一般 2,000 円

学生, ラボ・チューター 1,500 円

*2019年度理論言語学講座受講生は1000円

※参加費は当日現金でお支払下さい。

定員
50名

＜申込み＞「ホームページ申込みフォーム」、もしくは「FAX(HPよりダウンロード)」で

お申し込みください。5月27日より申込開始

- ①公開講座受講希望 ②氏名 ③フリガナ ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号
- ⑦Eメールアドレス ⑧区分(2019年度理論言語学講座受講生・一般・学生)
- ⑨所属(大学生・大学院生・教員・会社員・その他)

(上記情報は東京言語研究所事業以外には一切使用いたしません。)

講師略歴 1954年生まれ。北海道大学助教授、東京大学大学院総合文化研究科教授をへて、現在立正大学教授。著作に『増補版 大人のための国語ゼミ』(筑摩書房)、『言語学の教室』(西村義樹と共著、中公新書)、『哲学の謎』(講談社現代文庫)、『はじめて考えるときのよう』(PHP文庫)、『ここにはないもの』(中公文庫)、『心という難問 空間・身体・意味』(講談社)など多数。

問合せ先

公益財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒169-0072 新宿区大久保 1-3-21 新宿TXビル2階

TEL:03-6233-0631 FAX:03-6233-0633

ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

講演要旨
は裏面へ

【講義要旨】

私の専門は哲学であるから、このようなタイトルで講座を開くことについてひとこと説明しておきたい。言語哲学・論理学という、私の専門に近いところから、より実践的な論理力を身につけるプログラムとして「論理トレーニング」を提唱してきた。それがさらに進んで、国語力に行き着いたのである。日本語はもう十分にマスターしていると思っている人も多だろう。しかし案外、分かりやすく的確に相手に伝えるように話せなかったり、書けなかったりする。あるいは複雑な内容だと、聞いても読んでもしっかりと頭に入ってこなかったりするのではないだろうか。では、どういう力を鍛えればよいのか。どうすればその力が身につくのか。それを考えてみたい。そしてそれはまた、国語教育のあるべき姿を探るというものにもなるだろう。「国語って勉強してもしなくても変わらない」という感想をもつ生徒たちも少なくないように思われる。その現状から、国語の授業を通して国語力と呼びうる力と技術が身につく、鍛えられていく実感をもてる授業へと変わっていくためにはどうすればよいのか。私はもう10年以上中学校の国語教科書の編集に携わっている。中学校の国語教育は少なくとも私が中学生だったころ（半世紀ほど前である）とはずいぶん変わり、よくなってきている。その現状を伝え、さらにめざすべき方向を示唆し、いま変わろうとしている高校の国語教育についても考えていきたい。